はじめに

昨年（2011年）3月11日に日本を襲った東日本大震災は，尋常ならざる被害を国土および国民にもたらしたことで，我々建設技術に携わる者に激しい衝撃を与えるものでした．

先人から引き継がれ，我々の世代まで営々と築き上げてきた建設技術は，人の命と財産を守る最重要なものであるとの自負が崩れ去り，多くの命が失われたことに対して，すべての建設技術者が，深い自責の念を感じているものと思います．

また，「コンクリートでは人の命は守れない！」などの活字を目にする度に，長年コンクリート工学を専門としてきた者として忸怩たる思いをさせられてしまいますが，しかし反面「本当にそうか？」という思いも湧き起こってきます．確かにコンクリートだけでは人の命は守れません．しかしコンクリートなくしては人の命は守れないのも事実です．今回の震災におけるコンクリート構造物への被害から，これまで見過ごされてきた問題点を洗い出し，さらに安全性を高めるための技術開発にチャレンジしていくことこそが，我々の果たすべき使命と信じます．

本書は，旧「建設材料 コンクリート」を著者の一人である村田二郎先生のご指導を受けた鈴木と長瀧重義先生よりご指導を受けた藤原，久田，佐伯の4名で改訂して，書名も「コンクリート工学の基礎」と改題したものです．執筆中に東日本大震災があり，新たにコンクリート工学を学ぶ学生諸君や新進の技術者のための書として，前述の思いが伝わってくれることを念じて書いたつもりでおります．コンクリート工学の基本について，新たなる技術を盛り込みながら，わかりやすく全般を網羅するようにしておりますので，是非，良き参考書としてご愛読いただければ幸いです．

また，不備な点や至らぬ点もあるかと存じますので，読者からのご叱正をお願いいたします．

2012年3月　　改訂者一同